

砂糖等の新規需要開拓支援事業

事業実施計画書

事業実施年度： 令和 年度

事業実施主体名：

第1 事業計画総括表

取組項目	事業費	負担区分			補助率	完了予定日	備考
		国庫補助金	事業実施主体	その他			
1 加糖調製品に係るニーズ調査	円	円	円	円	定額		
2 国産の加糖調製品の開発					1/2以内		
3 販路拡大のためのマッチング・PR					1/2以内		
4 甘味資源作物の他用途利用に係る取組					定額		
合計	0	0	0	0			

(注) 1 「取組項目」の欄には、実施する項目のみ記入し、実施しない項目については削除すること。

2 「備考」の欄には、事業区分ごとに、仕入れに係る消費税等相当額について、これを減額した場合には、「除税額〇円 うち国費〇円」と、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記入するとともに、「含税額」と記入した場合であって、同税額を減額したときには、備考の欄に合計額（「除税額〇円 うち国費〇円」）を記入すること。

第2 事業の成果目標

成果目標			
目標値	現状値（〇年度）：	目標値（〇年度）：	増加率又は増加数： 〇%増加又は〇製品の開発
事業評価の検証方法（実績値の算出方法）	（例）〇年度の実績により検証。		

第3 事業実施主体

1 事業実施主体名及び代表者名

--

(注) コンソーシアムで実施する場合は、構成員の組織等の名称も記載すること。

2 事業実施体制

(1) 事業実施担当者

氏名 (ふりがな)	
所属 (部署名等)	
役職	
所在地	
電話番号	
e-mail	

(2) 経理担当者

氏名 (ふりがな)	
所属 (部署名等)	
役職	
所在地	
電話番号	
e-mail	

第4 事業実施スケジュール

【取組項目： _____】

事業の実施時期	内容
(_____ 年度) 月 月 月 月	

(注) 1 取組項目には、実施要領別記13の第2の取組を記入し、複数取り組む場合は表を追加して項目ごとに記入すること。

2 「内容」の欄には具体的取組を記述し、必要に応じて補足資料を添付すること。また、上記内容が分かる資料の添付に替えてもよいこととする。

第5 事業内容

取組項目	内容
1 加糖調製品に係るニーズ調査	<p>(事業の目的) ※事業着手の経緯、課題解決のために、どのような事業を展開し、どのような成果を実現しようとするのか記載してください。</p> <p>(事業の内容) ※新たな加糖調製品の国内市場のニーズを把握し、加糖調製品から国内製造の砂糖の使用に切り替えることができるようにするため、誰に（最終製品メーカー、消費者等）、どのような調査を行うのかを具体的かつ簡潔に記載してください。</p> <p>(事業成果・効果の検証方法) ※加糖調製品に係るニーズ調査に取り組んだ結果、どのような成果・効果が期待できるのか。また、そのことをどのようにして把握・評価するのかを具体的に記載してください。</p>
2 国産の加糖調製品の開発	<p>(事業の目的) ※事業着手の経緯、課題解決のために、どのような事業を展開し、どのような成果を実現しようとするのか記載してください。</p> <p>(事業の内容) ※どのような機器（導入予定機器等）を活用し、どのような製品（砂糖と混合する主原料や含糖率等）を開発することで、国産の加糖調製品に切替え等を行うのかを具体的かつ簡潔に記載してください。 (例) ○○の機械を活用し、○○の菓子を開発予定。従来の原料である加糖調製品に替えて、国内製造の砂糖と、混合する○○を原材料とする（国内製造の砂糖の比率は100%）。</p> <p>(事業成果・効果の検証方法) ※国産の加糖調製品の開発に取り組んだ結果、どのような成果・効果が期待できるのか。また、そのことをどのようにして把握・評価するのかを具体的に記載してください。</p>
3 販路拡大のためのマッチング・PR	<p>(事業の目的) ※事業着手の経緯、課題解決のために、どのような事業を展開し、どのような成果を実現しようとするのか記載してください。</p> <p>(事業の内容) ※国内製造の砂糖を原料とした調製品（製品を含む）の販路拡大のため、誰に（最終製品メーカー、消費者等）、どのような取組（見本市・展示会・商談会等の開催、国内製造の砂糖を原料としている製品の広告宣伝費、PR・プロモーション資材作成等）を行うのかを具体的かつ簡潔に記載してください。 (例) ○○を対象とした見本市を通じて○○の菓子パンをPRするため、見本市に出店し、またプロモーション資材を作成する。製品については従来の原料である加糖調製品に替えて、国内製造の砂糖と、混合する○○を原材料とする（国内製造の砂糖の比率100%）。</p> <p>(事業成果・効果の検証方法) ※販路拡大のためのマッチング・PRに取り組んだ結果、どのような成果・効果が期待できるのか。また、そのことをどのようにして把握・評価するのかを具体的に記載してください。</p>
4 甘味資源作物の他用途利用に係る取組	<p>(事業の目的) ※事業着手の経緯、課題解決のために、どのような事業を展開し、どのような成果を実現しようとするのか記載してください。</p> <p>(事業の内容) ※さとうきび等甘味資源作物のSAF等への他用途利用に向けた認知・理解の向上のため、誰に（甘味資源作物関係者、自治体、地域住民等）、どのような取組を行うのか（セミナー、シンポジウムの開催等）を具体的かつ簡潔に記載してください。</p> <p>(事業成果・効果の検証方法) ※甘味資源作物の他用途利用に向けた情報発信に取り組んだ結果、どのような成果・効果が期待できるのか。</p>

(注) 1 実施する項目・内容のみ記入し、実施しない項目・内容については削除すること。

2 「内容」の欄は具体的に記載し、必要に応じて補足資料を添付すること。また2,3の事業の場合は、開発した商品やPRする商品等における国内製造の砂糖の比率を明示すること。

第6 事業費

(単位：円)

1 取組項目別の内訳

取組項目	事業費	うち国費	費目	積算根拠（単価×数量等）	備考
1 加糖調製品に係るニーズ調査					
2 国産の加糖調製品の開発					
3 販路拡大のためのマッチング・PR					
4 甘味資源作物の他用途利用に係る取組					

- (注) 1 実施する取組項目のみ記入し、実施しない取組項目については削除すること。
 2 「費目」欄は、実施要領別記13の別表に規定している費目とし、費目単位で金額を整理すること。
 「積算根拠」には、単価、数量、員数等について具体的に記入すること。

2 備品費内訳（取組項目2を実施し、備品に係る経費がある場合）

(1) リース・レンタルにより調達する主な備品

備品名	仕様 製造会社名 形式	用途	金額	主として 使用する者	設置場所	リース・レンタル 予定時期
						年 月

(2) 購入予定の主な備品等

備品名	仕様 製造会社名 形式	用途	金額	主として 使用する者	設置場所	納入予定時期
						年 月

第7 経費の配分及び負担区分

事業名	総事業費 (A+B+C) 円	負担区分			備考
		国庫補助金(A) 円	事業実施主体(B) 円	その他(C) 円	
砂糖等の新規需要開拓支援事業					
合計					

(注) 「備考」の欄には、仕入れに係る消費税相当額について、これを減額した場合には「除税額〇〇〇円うち国費〇〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」と記入するとともに、「含税額」と記入した場合であって、同税額を減額したときには、備考の欄に合計額（「除税額〇円 うち国費〇円」）を記入すること。

第8 収支予算（又は精算）

(1) 収入の部

区分	本年度予算額 円	本年度精算額 円	比較増減		備考
			増 円	減 円	
国庫補助金 その他					
合計					

(2) 支出の部

区分	本年度予算額	本年度精算額	比較増減		備考
			増	減	
砂糖等の新規需要開拓支援事業	円	円	円	円	
合計					

(注) 「本年度精算額」「比較増減」の欄は、実績報告時に記入すること。

第9 添付書類 (添付しない書類名は削除すること。)

- (1) コンソーシアム規約又は定款、組織規程、経理規程等の組織運営に関する規約・規程及び収支予算 (又は収支決算)
- (2) 本事業の一部を外部へ委託する場合は、その委託契約書 (案) (又は写し)
- (3) 契約による購入、請負等がある場合は、見積書 (原則3社以上)
- (4) みどりの食料システム法に基づく認定計画がある場合は、基盤確立事業実施計画を添付すること。